



日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,918	1,926	446,212	617,290
患者登録者数	264	282	2,581	42,457
移植例数	133	125	—	17,200

■ 7 月年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,072 人
20 代	71,724 人
30 代	148,615 人
40 代	176,713 人
50 代	46,088 人

■ 7 月の 20 歳未満の登録者 153 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 7 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／629 人、献血併行型集団登録会／1,246 人、集団登録会／22 人、その他／29 人

■ 7 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSC T）累計数：58 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 今年度の広報推進施策について

AC ジャパン休止後の普及広報活動、特に若年者層への重点的なドナーリクルートの施策について、今年 1 月から 6 月まで毎月 1 回、広報推進委員会を開催して検討を進めてきました。

今年度の広報推進施策として以下の施策を実施する予定です。

- ① アンケート調査の実施/若年者層対策に取り組むにあたって 20 代を対象にした意識アンケートを実施します。サンプル数は 1,000 名を予定しています。集計結果を広報することも検討します。
- ② 早稲田大学プロフェッショナルズ・ワークショップへの参加/若年層への重点的なドナーリクルートを課題として早稲田大学の有志の学生が取り組み、施策を提案していただきます。
- ③ 滋慶学園の学生からの映像募集/同学園で演技や映像を学ぶ学生に授業の一環として骨髄バンクの CM 制作を依頼しています。
- ④ BS 日テレでの広報番組制作/5 分の広報番組を制作し、BS 日テレで放映します。放送後の映像素材は YouTube や地方ケーブルテレビでの放映など、二次利用が可能です。
- ⑤ ティップネス（スポーツクラブ）での広報/東名阪にあるティップネスの 61 店舗のフロントに骨髄バンクのリーフレットを設置していただきます。
- ⑥ ご当地アイドルによる広報/日本各地の 6 組程度のご当地アイドルによる歌とダンスを骨髄バンクのホームページで紹介します。アイドルファンや口コミによる全国規模での話題化を図り、骨髄バンクの PR につなげます。
- ⑦ 広報ラジオ番組の制作/10 月から来年 3 月までコミュニティ FM 約 70 局にて、毎週 1 回 1 時間のラジオ番組をオンエアします。パーソナリティは骨髄バンク普及大使の山本雅也さんです。感謝の手紙の紹介やゲストによるドナー登録の呼びかけ、支援団体やボランティアの紹介などを行います。

2 第 1 回普及啓発連絡会議が開催

7 月 9 日、日本赤十字社において、平成 26 年度第 1 回普及啓発連絡会議が開催されました。この会議は、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の施行に伴い、支援機関である日本赤十字社に新たに設けられた会議で、造血幹細胞移植全般に関する普及啓発活動および広報資料等について、関係事業者が統一した方針で活動していくことを目的として開催されます。

参加団体は、支援機関（日本赤十字社）、骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者（日本骨髄バンク）、臍帯血供給事業者（6 つの臍帯血バンク）、全国骨髄バンク推進連絡協議会、特定非営利活動法人血液情報ひろば・つばさ、特定非営利活動法人さい帯血国際患者支援の会の 11 団体で、各組織

の代表者が出席し、厚生労働省（移植医療対策推進室）が陪席しました。

会議では、造血幹細胞移植全般について、①ポータルサイトを活用した普及啓発、②造血幹細胞事業全体にかかる広報資材等の作成等について、議論されました。質疑応答では、当法人から、若年層への普及啓発と献血ルームでのドナー登録の協力を要望しました。

3 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は、7月末現在で83施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

産業医科大学病院

・移植診療科

同左 化学療法センター・血液科

新規認定施設については、当法人ホームページの患者さんへ＞移植認定病院、およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

4 骨髄バンク公認ソングが決定

骨髄バンク普及大使でシンガーソング・ライターの山本雅也さんが歌う「ひとつながる一ひと」が、このたび骨髄バンク公認ソングになりました。山本雅也さんは、9月から全国33会場で上演される舞台「友情」にも出演し、骨髄バンクのPRを行います。また、テレビ、ラジオ出演、コンサート等の活動を通じて広くPRしていただく予定です。なお、骨髄バンク公認ソングは、骨髄バンク YouTube 公式チャンネルで視聴できます。<http://www.youtube.com/user/jmdpmv>

5 舞台「友情～秋桜のバラード～」今年も上演

今年も秋恒例の舞台「友情～秋桜のバラード～」が、9月3日（水）、東京都台東区立浅草公会堂を皮切りに全国33会場で上演されます。初演から15年、今年度で上演回数500回を数えます。主演に松方弘樹さんを迎え、釈由美子さん、池上季実子さん他、豪華キャストが出演します。芝居の他、歌謡ショーも同時開催。会場ロビーでは各地のボランティアの皆様の協力により、骨髄バンクのPRを行う予定です。詳しくは当法人のホームページをご覧ください。

http://www.jmdp.or.jp/help_us/support/support/friendship.html

6 新たに8つの自治体でドナー助成制度を導入

7月、8月に、新たに8つの自治体で骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。現時点での制度導入は全国で42自治体になります。

今回新たに加わった8自治体の内、6つが埼玉県内の自治体です。全42自治体をみても12が埼玉県です。埼玉県では県内の市町村がドナー助成制度を導入した場合、その費用の半分を県が補助しています。県ではドナー助成制度導入の促進のために市町村を対象にした説明会を開催するなど、積極的な取り組みを行っています。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。問い合わせ先は当法人のホームページをご覧ください。http://www.jmdp.or.jp/donation/about/post_202.html



【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○埼玉県加須市 ○埼玉県川越市 ○埼玉県さいたま市 ○埼玉県坂戸市 ○埼玉県秩父郡皆野町
○埼玉県新座市 ○佐賀県西松浦郡有田町 ○熊本県宇土市

7 8月6日・7日「子ども霞が関見学デー」が開催

8月6日（水）、7日（木）の2日間、子どもたちに政府の仕事を紹介するための夏休みイベント「子ども霞が関見学デー」が霞が関の各府省庁で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

厚生労働省2階講堂には、骨髄バンクのほか、日本赤十字社等の10団体のブースが設置され、骨髄バンクとさい帯血バンクの合同ブースには2日間で延べ550人の子どもたちが来場しました。来場した子どもたちは、クイズに答えたり、さい帯血バンクのキャラクター「きずなちゃん」のぬり絵やパズル、折り鶴を楽しみました。こうした遊びを通じて、骨髄バンクとさい帯血バンクへの理解を深めてもらいました。

8 小寺副理事長が国際造血細胞移植研究機構の殊勲賞を受賞

このたび、当法人の小寺良尚副理事長が、北米の造血細胞移植登録機関であるCIBMT R（国際造血細胞移植研究機構）における、CIBMT R 2015 Distinguished Service Award（殊勲賞）を受賞することが決定しました。

これは、小寺副理事長のこれまでの日本国内における造血幹細胞移植およびその研究活動に加え、アジア地域での主にアジア・太平洋造血細胞移植グループ（APBMT）を基軸とした国際協力活動・国際共同研究活動、さらに世界造血細胞移植ネットワーク（WBMT）での国際協力活動が評価されたものです。ちなみに、日本では初の受賞となります。

受賞式は、2015年2月に開催される米国造血細胞移植学会の会期中に行われる予定です。

9 骨髄バンクホームページのクリック募金が終了

株式会社カカコム様にご支援いただいていた骨髄バンクホームページのクリック募金が、2014年7月31日（木）をもって終了となりました。2004年の開始以来、約1,600万円のご寄付をいただきました。今までご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

10 当法人の会議等開催予定

- ◆「骨髄バンク推進全国大会 in 福島」は9月13日（土）13時から、福島市の福島テルサにて開催されます。皆様のご来場をお待ちしています。詳細は当法人のホームページをご覧ください。

http://www.jmdp.or.jp/information/2014_in.html

- ◆下記の会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
広報推進委員会	公開・一部非公開	9月2日（火）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	9月26日（金）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

11 「ドナーのためのハンドブック」の改訂について

「ドナーのためのハンドブック」を増刷にあわせて改訂しました（第2版）。今回の改訂は初版作成時の誤りの修正の他、データの更新等小規模なものです。調整医師・採取責任医師・コーディネーターの方にお送りします。

※変更点は同封の新旧対照表をご参照ください。

なお、改訂版は現行の初版が無くなり次第、使用を開始します。改訂版の使用開始は当初の予測よりやや遅く、8月下旬以降となる見込みです。既にドナーさんにお送りしたハンドブックの差し替えは不要です。

コーディネーターの方には面談時に新旧のハンドブックをお持ちいただき、ドナーさんが持参された版でご説明をお願いします。

12 フォローアップ関連帳票の変更について**<採取医師の方へ>**

このたび採取責任医師の先生方から、フォローアップ関連帳票についてご意見をいただき、ドナー安全委員会にて検討されました。その結果、フォローアップ関連帳票の、細胞数の桁数表示を変更しましたのでご報告します。なお、詳細につきましては、別紙「フォローアップ関連帳票の変更について（通知）」をご確認ください。

以下の帳票につきましては、8月18日(月)の発送分から変更します。既に発送されている帳票の差し替えは不要です。

・帳票名称

【採取報告書（速報）】

※細胞数の桁数表示を 10^8 に統一しました。

【非血縁者間・骨髄採取報告書】

変更前) $\times 10^9$ → 変更後) $\times 10^8$

13 1人のドナーからHLAが一致したきょうだい2人への造血幹細胞提供について

主治医から「1人のドナーからHLAが一致したきょうだい2人へ同時に骨髄を提供することは可能か」との問い合わせがあったことを受け、医療委員会、ドナー安全委員会、倫理委員会、および業務執行会議において審議され、下記の方針等が示されました。そのため、ドナーへの説明を「ドナーのためのハンドブック」に追加することとなりました。

【基本的な方針】

骨髄バンク事業では1対1のあっせんを基本とするため、それぞれのドナーから提供することを原則とする。ただし、患者救命の観点から同時期に移植する必然性が認められ一定の条件を満たす場合に、ドナーから1回の採取で提供された造血幹細胞を2人の患者（きょうだい）へ移植することを可能とする。